

1 看護学科

(1) 教育理念と人材育成の目的

本学の教育理念である実学を重視する建学の精神と、医療保健科学部の医療における職業人としての専門知識や技能に加えて、豊かな人間性と社会性を備え、多職種連携に柔軟に対応できる高度な人材を育成するという教育目的を基盤とする。本学科は、文理横断的かつ学際的な知識と論理的な思考を有する看護師としての高度専門化に対応した看護実践能力を有し、生涯にわたって看護学と医療保健の質向上に貢献でき、多様なケア環境に適した多職種連携・協働チームにおいてリーダー的役割が担える人材を育成する。

このため、看護学科における人材育成の目的は、様々な健康状態にある人々とかかわることのできる専門的知識・技術を修得し、科学的根拠に基づいた看護実践能力を身につけるとともに、柔軟に社会や時代の変化に対応でき、多職種と協働し包括ケアのリーダー的な役割を担い、グローバル化の進展や医療のデジタル化と関連するテクノロジーの進化に対応できる能力を有した人材を輩出することである。

(2) 教育課程の構成と概要

上記目的を達成するために看護学科の教育課程は、①教養科目、②専門基礎科目、③専門科目によって構成されている。

① 教養科目

「教養科目」は、人間と文化、社会と制度、自然と科学、外国語、スポーツと健康、総合領域の6分野から構成されている。1年次にほぼ必要単位を履修し、多面的、文理横断的な視点から理解を深めるための基盤づくりとしている。外国語分野では、国際学部を併設する本学の利点を活かして、「中国語Ⅰ・Ⅱ」「英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「韓国語Ⅰ・Ⅱ」の言語と、各言語の習熟度に応じた内容で選択科目を設けている。

② 専門基礎科目

「専門基礎科目」は、人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、健康支援と社会保障制度の3分野から構成されている。人体の構造と機能では、専門科目修得の基盤となる、「人体構造学Ⅰ・Ⅱ」「人体機能学Ⅰ・Ⅱ」を配置し、疾病の成り立ちと回復の促進では、「看護病態治療学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」や「感染症と看護」、健康支援と社会保障制度では、「医療概論」「関係法規」などの科目を配置している。

③ 専門科目

「専門科目」は、基礎看護学、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、地域・在宅看護論、看護の統合と実践、臨地実習の9分野から構成されている。1年次は、基礎看護学の「看護学の基礎」や「日常生活援助技術Ⅰ・Ⅱ」、「在宅看護学の基礎」「地域看護学の基礎」「成人看護学の基礎」などを配置した。2年次からはより専門性が求められる「老年看護学」「母性看護学」「小児看護学」「精神看護学」などの各論科目を配置している。そして、4年生前期から後期にかけて、「看護マネジメント論」「国際看護学」「災害看護学」などの看護の統合と実践の科目を配置している。

(3) 履修の方法

① 卒業に必要な単位（表1）

卒業に必要な単位は124単位である。教養科目必修4単位、専門基礎科目必修33単位、専門科目必修75単位、選択科目11単位以上、合計124単位以上を卒業までに取得しなければならない。卒業要件を満たしたものは、学士（看護学）と看護師国家試験受験資格が得られる。

表1 進級・卒業要件

区分	2年次進級要件	3年次進級要件	4年次進級要件	卒業要件	
必修	34単位	78単位	100単位	113単位	124単位
選択	表2参照			11単位以上	

② 進級要件

- i) 1年次から2年次への進級要件
1年次に配当されている必修科目を、原則としてすべて修得していること。
- ii) 2年次から3年次への進級要件
2年次までに配当されている必修科目を、原則としてすべて修得していること。
- iii) 3年次から4年次への進級要件
3年次までに配当されている必修科目を原則としてすべて修得していること。

③ 選択科目の履修方法

選択科目は、教養科目38単位、専門基礎科目1単位、専門科目1単位で構成され、年次によって構成配分が定められている(表2)。また卒業要件の選択科目11単位以上には履修規定があり、教養科目の7科目11単位を含まなければならない(表3)。2年次以降専門基礎科目と専門科目が多くなるため、1年次のうちに教養科目から11単位以上の選択科目を履修しておくことを勧める。

表2 選択科目の年次配分

年次	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
教養科目	20科目 30単位	1科目 1単位	1科目 1単位	/	26科目 38単位
	4科目		6単位		
専門基礎科目	/	/	1科目 1単位	/	1科目 1単位
専門科目			1科目 1単位		1科目 1単位
科目 単位計 ※学年横断分除	20科目 30単位	1科目 1単位	2科目 2単位	1科目 1単位	28科目 40単位

表3 教養科目の年次配分と卒業要件

分野	分野別科目数・単位数の年次配分			卒業要件に含む選択科目数と単位数
	1年次	2年次	3年次	
人間と文化	4科目 8単位	/	/	1科目 2単位
社会と制度	2科目 4単位			1科目 1単位
自然と科学	6科目 10単位	/	/	2科目 4単位
外国語	6科目 6単位			1科目 1単位
スポーツと健康	2科目 2単位	/	/	1科目 1単位
合計 単位計 ※学年横断分除	20科目 30単位			1科目 1単位

(4) 臨地実習について

① 臨地実習のねらい

実習科目は、1年次前期に「基礎看護学実習Ⅰ」、2年次後期に「基礎看護学実習Ⅱ」「地域フィールド実習」、3年次後期に「成人看護学実習」「小児看護学実習」「母性看護学実習」「地域・在宅看護論実習」、4年次前期に「老年看護学実習」「精神看護学実習」「臨床判断実習」「看護実践マネジメント実習」を配置している。これにより、既習の教養科目の知識と技術を統合し、集大成として看護の対象である人々に看護を提供し、看護学の理解と思考力そして、人間観や自らの看護観を確立すると共に自身の成長も促す。

② 看護学実習の履修要件

看護学実習を履修するには、各実習が該当する学年への進級要件を満たしていること、且つ以下の科目の履修をしていることが必要である。

実習科目名	履修要件科目名
基礎看護学実習Ⅱ	看護栄養学、病理学、看護病態治療学Ⅰ～Ⅳ、臨床検査概論、感染症と看護、臨床看護技術、看護過程論
母性看護学実習	母性看護学の展開Ⅱ
小児看護学実習	小児看護学の展開Ⅱ
成人看護学実習	成人看護学の展開Ⅲ
地域・在宅看護学実習	在宅看護学の展開Ⅱ

(5) 取得可能な資格

看護師国家試験受験資格